

## 受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、ABケイマン・トラスト(以下「トラスト」といいます。)のサブ・ファンドであるエマージング・ボンド・ファンド(外貨建)(以下「ファンド」といいます。)の円建-円ヘッジクラスは、このたび、第7期の決算を行いました。

ファンドの目的は、ABケイマン・マスター・トラスト-エマージング・マーケット・ボンド・ポートフォリオ(以下「投資対象ファンド」といいます。)に対する投資を通じて米ドル建の新興国の国債、政府保証債、政府機関債および社債等の債券を実質的な主要投資対象とし、値上がり益とインカムゲインからなるトータル・リターンを最大化を追求することです。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### その他記載事項

運用報告書(全体版)は代行協会のウェブサイト(<https://www.alliancebernstein.co.jp>)の投資信託情報ページにて電磁的方法により提供しております。

ファンドの運用報告書(全体版)は受益者の皆様からのご請求により書面で交付されます。書面での交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

管理会社

アライアンス・バーンスタイン・  
エル・ピー

ABケイマン・トラスト

# エマージング・ボンド・ファンド (外貨建)

円建-円ヘッジクラス

ケイマン籍オープンエンド契約型公募外国投資信託/追加型

## 交付運用報告書

作成対象期間 第7期  
(2018年10月1日~2019年9月30日)

第7期末	
1口当たり純資産価格	8,080円
純資産総額	620,820,316円
第7期	
騰落率	4.64%
1口当たり分配金額	300円

(注1)騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。端数調整方法の違いにより、月次報告書に記載の騰落率とは異なる場合があります。以下同じです。

(注2)1口当たり分配金額は、税引前の1口当たり分配金額を記載しています。以下同じです。

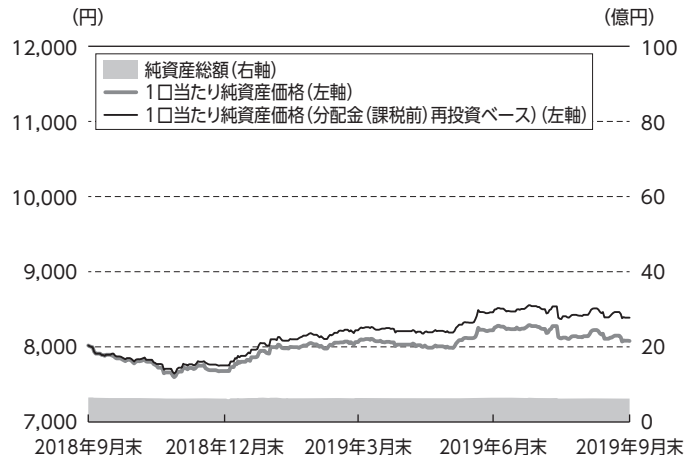
代行協会

アライアンス・バーンスタイン株式会社

## 《運用経過》

### 当期の1口当たり純資産価格等の推移について

〈円建-円ヘッジクラス〉



第6期末の1口当たり純資産価格:	8,017円
第7期末の1口当たり純資産価格:	8,080円 (分配金額: 300円)
騰落率:	4.64%

#### ■ 1口当たり純資産価格の主な変動要因

- プラス要因
- ・保有債券の利息収入
  - ・保有するドル建エマーGINGグ国債の価格上昇
- マイナス要因
- ・為替ヘッジ・コスト
  - ・保有するドル建地方債の価格下落

(注1) 1口当たり純資産価格(分配金(課税前)再投資ベース)は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。以下同じです。

(注2) 1口当たり純資産価格(分配金(課税前)再投資ベース)は、第6期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

(注3) ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注4) ファンドにベンチマークは設定されていません。

## 費用の明細

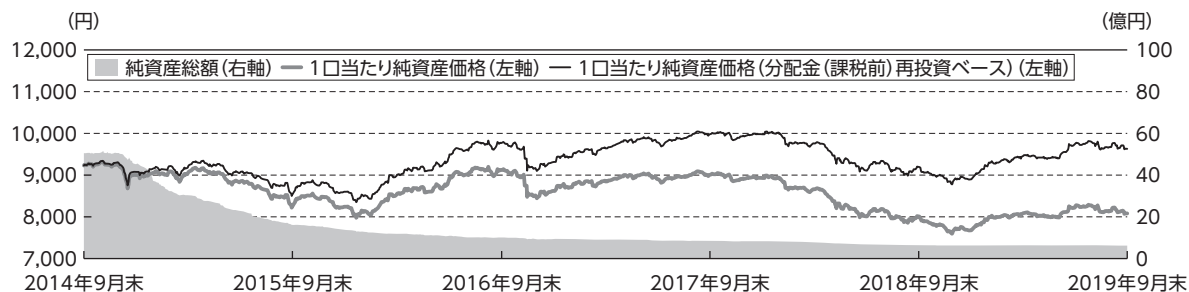
項目	項目の概要	
管理会社報酬	<管理会社として提供するサービス> 純資産総額の年率0.01% <投資運用会社として提供するサービス> 純資産総額の年率0.19%	ファンド資産の管理運用業務、受益証券の発行業務、ファンドの投資運用業務
受託会社報酬	年間10,000米ドル	ファンドの受託業務
販売会社報酬	純資産総額の年率0.30%	ファンドの受益証券の販売・買戻しの取扱業務
販売管理代行報酬	純資産総額の年率0.95%	販売関連費用の支払い等の販売関連サービス
代行協会員報酬	純資産総額の年率0.05%	受益証券1口当たり純資産価格の公表等ファンドの代行協会員業務
その他の費用(当期)	0.41%	専門家報酬(弁護士費用および会計士費用)、管理事務代行会社報酬等

(注1)各報酬については、有価証券報告書に定められている料率および金額を記しています。「その他の費用(当期)」には、運用状況等により変動するものや実費となるものが含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額をファンドの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

(注2)各項目の費用は、投資対象ファンドの費用を含みません。

## 最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について

〈円建-円ヘッジクラス〉



	第2期末 (2014年9月末日)	第3期末 (2015年9月末日)	第4期末 (2016年9月末日)	第5期末 (2017年9月末日)	第6期末 (2018年9月末日)	第7期末 (2019年9月末日)
1口当たり純資産価格 (円)	9,230	8,245	9,120	9,004	8,017	8,080
1口当たり分配金額 (円)	-	300	300	300	300	300
騰落率 (%)	-	-7.62	14.56	2.13	-7.76	4.64
純資産総額 (円)	5,049,562,153	1,604,971,700	1,009,161,366	847,912,650	652,117,653	620,820,316

(注1) 1口当たり純資産価格(分配金(課税前)再投資ベース)は、第2期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

(注2) ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。

## 投資環境について

当期のエマージング債券市場は、期初から2018年11月中旬にかけては、原油価格の下落や世界的な株安を背景に下落しました。その後期末にかけては、米国金利の低下(価格は上昇)や原油価格が持ち直したことなどから、欧米の株式市場が上昇したことを受け、大きく上昇しました。

## ポートフォリオについて

ファンドは主として米ドル建てのエマージング債券を実質的な投資対象とし、値上がり益とインカムゲインからなるトータル・リターンを最大化を追求します。運用にあたっては、当期も引き続き、計量分析とファンダメンタル分析に基づき、魅力的であると判断した銘柄への投資を行いました。

その結果、セクター別では、国債を中心に、社債や政府機関債の銘柄にも投資を行いました。国別では、インドネシア、メキシコ、南アフリカ、アルゼンチン等が上位となりました。

なお、円建-円ヘッジクラスでは、米ドルと円間の為替レートの変動による影響を低減するために、米ドル売り・円買いの為替ヘッジ取引を行いました。

## 分配金について

当期(2018年10月1日～2019年9月30日)の1口当たり分配金(課税前)はそれぞれ下表のとおりです。なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

(円建-円ヘッジクラス)

(金額:円)

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 <sup>(注1)</sup> (対1口当たり純資産価格比率 <sup>(注2)</sup> )	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額 <sup>(注3)</sup>
2018年10月16日	7,885	25 (0.316%)	6
2018年11月16日	7,723	25 (0.323%)	-137
2018年12月18日	7,716	25 (0.323%)	18
2019年 1 月16日	7,824	25 (0.319%)	133
2019年 2 月19日	7,986	25 (0.312%)	187
2019年 3 月18日	8,056	25 (0.309%)	95
2019年 4 月16日	8,063	25 (0.309%)	32
2019年 5 月16日	8,000	25 (0.312%)	-38
2019年 6 月18日	8,136	25 (0.306%)	161
2019年 7 月17日	8,240	25 (0.302%)	129
2019年 8 月16日	8,122	25 (0.307%)	-93
2019年 9 月18日	8,123	25 (0.307%)	26

(注1)「1口当たり分配金額」には分配落日における1口当たりの分配金額を記載しています。

(注2)「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

対1口当たり純資産価格比率(%)=100×a/b

a=当該分配落日における1口当たり分配金額

b=当該分配落日における1口当たり純資産価格+当該分配落日における1口当たり分配金額

以下同じです。

(注3)「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額=b-c

b=当該分配落日における1口当たり純資産価格+当該分配落日における1口当たり分配金額

c=当該分配落日の直前の分配落日における1口当たり純資産価格

以下同じです。

(注4)2018年10月16日の直前の分配落日(2018年9月19日)における1口当たり純資産価格は、7,904円でした。

## 《今後の運用方針》

エマージング債券市場では、米国の通商政策や中東情勢、さらには新型コロナウイルスの流行拡大などをめぐる不透明感などの外部環境要因を注視する必要がある状況が続いています。しかし、エマージング諸国全体はこれまでの高成長と直接投資の増加によって外貨準備・財政状況は改善していることから、以前に比べ格段に外生的なショックに対する抵抗力が強くなっていると考えており、ファンダメンタルズの堅調さが損なわれることはないと考えています。また、主要先進国が金融緩和を強化し、エマージング諸国も金融緩和を行う足元の環境は、エマージング債券市場にとって支援材料になると考えています。運用にあたっては、構造改革が進展するなど財政改善が見込める国や、悪材料を十分に織り込み価格面での魅力が出てきた国に注目しています。一方、世界経済の成長率が下振れるとの懸念がエマージング資産投資への逆風になる状況は続くと考えており、対外収支の脆弱な国については慎重なスタンスとしています。

個別国では、ブラジルについては、年金に加えて税制や民営化の改革に取り組む点を評価しています。アルゼンチンは、新政権発足により経済対策と債務再編計画の策定に着手することが期待されることから、今後は債券価格の上昇余地があるとみています。インドネシアは、財政規律を保ちつつ経済対策、金融緩和策を進めている点を評価しています。一方、メキシコは、国営石油会社の財務悪化に伴う財政負担やそれに伴う格下げを警戒しています。トルコについては、引き続き外交と経済政策の両面でリスクが高いとみています。エマージング社債については、グローバルに事業を展開する銘柄を中心に選別的に投資を行う方針ではあるものの、米中通商問題がリスクとして残存する環境を踏まえ、対国債のスプレッド動向に注目して銘柄を選別する方針です。

## 《お知らせ》

該当事項はありません。

## 《ファンドの概要》

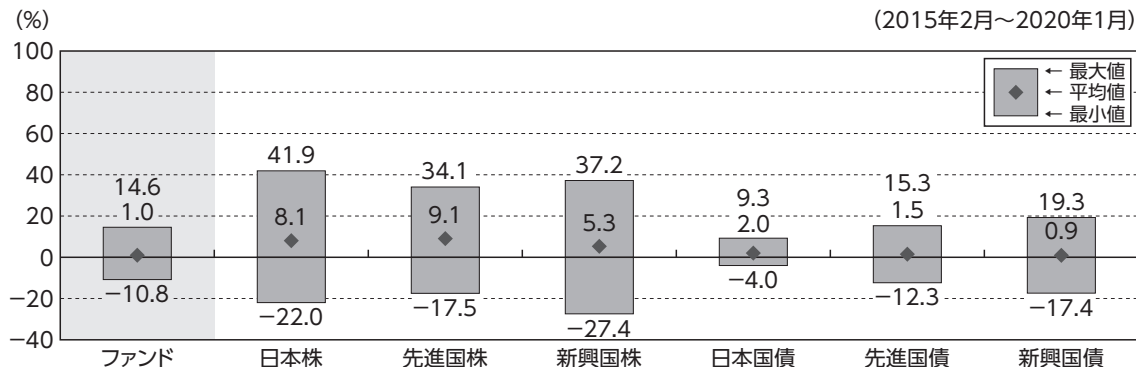
ファンド形態	ケイマン籍オープンエンド契約型公募外国投資信託／追加型	
信託期間	ファンドは、2022年1月31日に終了する予定です。 ただし、管理会社が、受託会社と協議の上、受益者の利益のためと判断した場合には、事前にファンドを終了させることがあります。	
運用方針	ファンドの目的は、ABケイマン・マスター・トラスト・エマージング・マーケッツ・ボンド・ポートフォリオ(以下「投資対象ファンド」といいます。)に対する投資を通じて米ドル建の新興国の国債、政府保証債、政府機関債および社債等の債券を実質的な主要投資対象とし、値上がり益とインカムゲインからなるトータル・リターンを最大化を追求することです。	
主要投資対象	ファンド	ABケイマン・マスター・トラスト・エマージング・マーケッツ・ボンド・ポートフォリオ
	投資対象ファンド	<p>主に米ドル建のエマージング債券を主要投資対象とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆通常、資産総額の80%以上をエマージング債券に投資する見込みです。</li> <li>◆米ドル以外の通貨建債券への投資割合は、原則として純資産総額の20%以内とします。ただし、米ドル以外の通貨建債券に投資する場合は対米ドルで為替ヘッジをする予定です。</li> <li>◆社債への投資割合は、純資産総額の35%以内とします。また、投資対象ファンドは、株式等のエクイティ証券に対する投資を行いません。 ※ただし、投資対象ファンドは、転換社債の行使等により、純資産総額の25%までエクイティ証券を保有することができます。</li> <li>◆投資対象ファンドの資産は、投資適格の有価証券だけではなく、非投資適格の有価証券に対しても投資が行われます。非投資適格の有価証券に対しては、純資産総額の50%を超えて投資される場合があります。</li> <li>◆新興国における単一国への投資割合は、純資産総額の30%以内とします。</li> </ul>
ファンドの運用方法	<p>ファンドは、米ドル建のエマージング債券を実質的な主要投資対象とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ファンドは、資産の大部分を投資対象ファンドに投資します。投資対象ファンドは、米ドル建のエマージング債券を主要な投資対象とします。</li> <li>◆管理会社は、ファンドの資産総額の80%以上をエマージング債券に投資する見込みです。</li> </ul>	
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆投資対象ファンドの総資産の50%以上を金融商品取引法第2条第1項に定義される「有価証券」に投資します。ただし、投資対象ファンドの運用開始直後、大量の買戻請求が予想される場合または管理会社がコントロールすることができないその他の状況が予想される場合を除きます。</li> <li>◆単一発行体が発行する債券への投資割合は、純資産総額の10%以下とします。ただし、ソブリン債または準ソブリン債に投資する場合を除きます。</li> <li>◆借入残高総額は、純資産総額の10%を超えないものとします。ただし、合併等の特別事態により一時的に当該10%の制限を超える場合はこの限りではありません。</li> </ul>	
分配方針	<p>原則、毎月15日(15日がファンド営業日ではない場合には、その翌ファンド営業日)を分配基準日として、分配を宣言します。</p> <p>分配は、販売取扱会社を通じて投資者に対して、分配基準日(同日を含みます。)から起算して原則として7国内営業日目以降に支払われます。</p>	



## 《参考情報》

### ■ファンドと他の代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較

(円建-円ヘッジクラス)



- 上記グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。
- 全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- 上記グラフは、2015年2月から2020年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示したものです。
- ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したとみなして計算した騰落率であり、実際の1口当たり純資産価格に基づき計算した騰落率とは異なる場合があります。

#### <各資産クラスの指数>

日本株・・・東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株・・・MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI国債

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債・・・JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、円貨に為替換算しております。

#### 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

#### MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

#### FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

## 《ファンドデータ》

### ファンドの組入資産の内容

(第7期末現在)

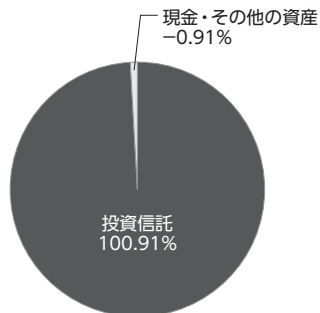
#### ●組入上位資産

(組入銘柄数: 1銘柄)

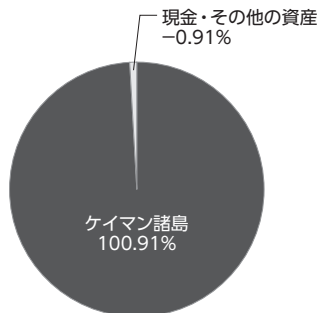
銘柄	組入比率 (%)
AB Cayman Master Trust - Emerging Markets Bond Portfolio	100.91

(注)組入比率は純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。以下のグラフも同様です。

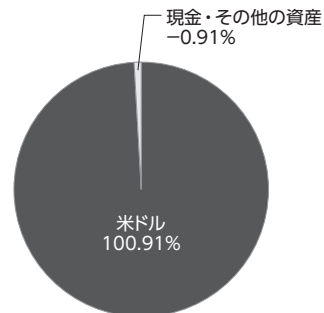
#### ●資産別配分



#### ●国別配分



#### ●通貨別配分



(注)組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

## 純資産等

〈円建-円ヘッジクラス〉

第7期末		
純資産総額	発行済口数	1口当たり純資産価格
620,820,316円	76,831口	8,080円

第7期		
販売口数	買戻口数	発行済口数
0口 (0口)	4,510口 (4,510口)	76,831口 (76,831口)

(注) ( ) の数は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。

## 投資対象ファンドの概要

(2018年10月1日～2019年9月末日)

### ABケイマン・マスター・トラスト・エマージング・マーケット・ボンド・ポートフォリオ

#### ●1口当たり純資産価格の推移



#### ●費用の明細

項目	比率
投資運用報酬	0.84%
専門家報酬	0.37%
管理事務代行報酬	0.25%
保管会社報酬	0.12%
名義書換事務代行報酬	0.06%
印刷費用	0.06%
受託会社報酬	0.05%
登録費用	0.01%
その他の費用	0.01%

(注) 投資対象ファンドの費用は、便宜上、当期の各費用の金額を当期末末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

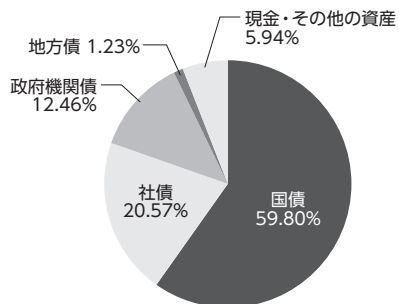
#### ●組入上位資産 (2019年9月末日現在)

(組入銘柄数: 137銘柄)

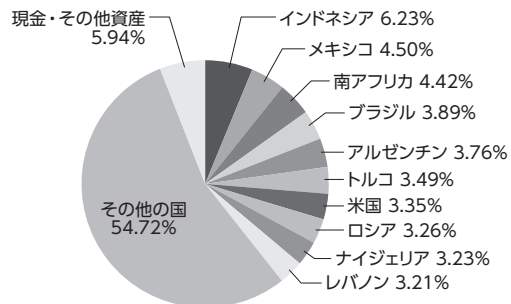
上位10銘柄		組入比率(%)
1	U.S. Treasury Notes	3.35
2	Indonesia Treasury Bond Series FR68	2.97
3	Oman Government International Bond	2.07
4	Jamaica Government International Bond	1.95
5	Ecuador Government International Bond	1.84
6	Mexican Bonos Series M 20	1.75
7	Argentine Republic Government International Bond	1.73
8	Russian Foreign Bond - Eurobond	1.57
9	Ecuador Government International Bond	1.30
10	Republic of South Africa Government International Bond	1.26

(注) 組入比率は純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。以下のグラフも同様です。

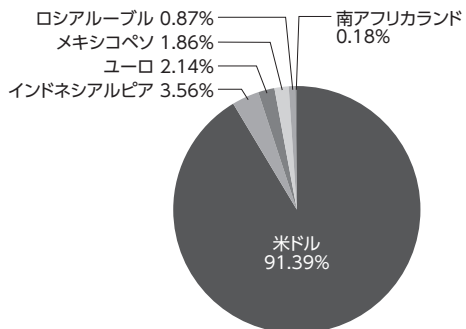
## ●資産別配分



## ●国別配分



## ●通貨別配分



(2019年9月末日現在)

(注) 上記グラフには、四捨五入した比率を記載しているため、全資産の比率の合計が100.00%にならない場合があります。